

15. 予 防 接 種

[1] 定期予防接種（予防接種法第3条）

感染症の発生及びまん延を予防するため、法令で定められた疾病（ポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎・結核・インフルエンザ）の予防接種を行なっている。

ジフテリア・百日せき・破傷風は三種混合ワクチン、ジフテリア・破傷風は二種混合ワクチンを使用している。平成24年9月1日から不活化ポリオワクチンの導入に伴い、ポリオ(春・秋実施)は定期予防接種外となった。また、11月1日からは、ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオの四種混合ワクチンが定期予防接種に導入された。

区 分 種 類	実 施 の 方 法			予防接種法による対象年齢	
	通 知 の 対 象	実施時期	実施場所		
B C G	生後2か月に達した者	毎月	保健所 健康相談所	生後6か月に至るまで	
ポリオ	1回目生後5～10か月の者 2回目生後11～16か月の者	春季	区施設 等の会場	生後3か月以上 7歳半に至るまで	
不活化ポリオ [第1期初回]	生後2か月に達した者 (3～4か月児健診通知に同封)	年間を通じて実施	区内契約 医療機関	生後3か月以上 7歳半に至るまで	
不活化ポリオ [第1期追加]	生後2か月に達した者 (第1期初回接種3回完了者)	年間を通じて実施	区内契約 医療機関	生後3か月以上 7歳半に至るまで	
D. P. T [第1期初回]	生後2か月に達した者 (3～4か月児健診通知に同封)	年間を通じて実施	区内契約 医療機関	生後3か月以上 7歳半に至るまで	
D. P. T [第1期追加]	生後11か月に達した者 (1歳の誕生月の前月末に通知)				
DPT - IPV [第1期初回]	生後2か月に達した者 (3～4か月児健診通知に同封)	年間を通じて実施	区内契約 医療機関	生後3か月以上 7歳半に至るまで	
D. T [第2期]	11歳の誕生月に通知	年間を通じて実施	区内契約 医療機関	11歳以上13歳未満	
麻しん・ 風しん	第1期	生後11か月に達した者 (1歳の誕生月の前月末に通知)	年間を通じて実施	区内契約 医療機関	1歳以上2歳に至るまで
	第2期	小学校就学の1年前に通知			5歳以上7歳未満で、 小学校就学前の1年間 (就学前年度4/1～3/31)
	第3期	中学校1年生に相当する 年の年度初めに通知			13歳になる年度 中学校1年生に 相当する1年間
	第4期	高校3年生に相当する 年の年度初めに通知			18歳になる年度 高校3年生に相当する1年間

(注) 「未満」は、誕生日の前々日までを「至るまで」は誕生日の前日までを示す。

種類	区分	実施の方法			予防接種法による対象年齢
		通知の対象	実施時期	実施場所	
日本脳炎	第1期初回	3歳に達した者 (3歳児健診通知に同封)	年間を通じて実施	区内契約医療機関	生後6か月以上7歳半に至るまで
	第1期追加	3歳に達した者 (3歳児健診通知に同封)			
	第2期	9歳の誕生日に通知			
インフルエンザ		12月末現在で65歳に達する方に通知	10月1日から1月31日	区内契約医療機関	65歳以上 (特定疾患は60歳以上)

(注1) 麻しん・風しんは平成20年から5年間の時限措置として第3期・第4期が追加された。

(注2) ポリオは、H24.9.1不活化ポリオ導入に伴い、春のみ実施。

□実績

(単位:人)

年度	区分	BCG	三種混合(DPT)		二種混合(DT)	ポリオ(OPV) (春・秋)		不活化ポリオ(IPV)		四種混合(DPT-IPV)	
			1期初回	1期追加	2期	1回目	2回目	1期初回	1期追加	1期初回	1期追加
20	対象者(延)	1,703	5,109	1,703	1,360	1,655	1,625				
	実施者(計)	1,618	4,846	1,365	828	1,553	1,459				
	接種率(%)	95.0	94.9	80.2	60.9	93.8	89.8				
21	対象者(延)	1,826	5,478	1,826	1,260	1,689	1,635				
	実施者(計)	1,720	5,004	1,448	863	1,522	1,468				
	接種率(%)	94.2	91.3	79.3	68.5	90.1	89.8				
22	対象者(延)	1,884	5,652	1,884	1,436	1,808	1,737				
	実施者(計)	1,775	5,258	1,610	982	1,699	1,567				
	接種率(%)	94.2	93.0	85.5	68.4	94.0	90.2				
23	対象者(延)	1,904	5,712	1,904	1,421	1,796	1,769				
	実施者(計)	1,809	5,556	1,592	791	1,167	1,334				
	接種率(%)	95.0	97.3	83.6	55.7	65.0	75.4				
24	対象者(延)	1,966	5,898	1,966	1461	1,809					
	実施者(計)	1,844	4,981	1,788	863	779		6,566	91	817	0
	接種率(%)	93.8	84.5	91.0	59.1	43.1					

(注1) 24年9月1日から不活化ポリオ導入に伴い、ポリオ(経口生ワクチンOPV)は春のみ実施。

(注2) 4種混合ワクチン(DPT-IPV)は24年11月1日から開始。

(単位：人)

区分 年度		日本脳炎						インフル エンザ (高齢者)
		1 期初回 (7 歳 6 か 月に至る まで)	1 期追加 (7 歳 6 か 月に至る まで)	1 期初回 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	1 期追加 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	2 期 (9 歳～ 13 歳未満)	2 期 (13 歳～ 20 歳未満)	
20	対象者(延)	0	0			0		51,592
	実施者(計)	122	36			12		23,708
	接種率(%)							46.0
21	対象者(延)	0	0			0		52,245
	実施者(計)	497	85			18		22,627
	接種率(%)							43.3
22	対象者(延)	3,056	1,528			864		52,772
	実施者(計)	5,144	635	306	336	1,673		25,621
	接種率(%)	168.3	41.6			193.6		48.5
23	対象者(延)	2,350	1,175			1,452		52,909
	実施者(計)	3,355	1,374	1,048	504	585	390	22,928
	接種率(%)	142.8	116.9			40.3		43.3
24	対象者(延)	3,430	1,715			1,378		54,127
	実施者(計)	2,904	1,126	1,284	691	206	208	22,519
	接種率(%)	84.7	65.7			15.0		41.6

(注1) 日本脳炎については「平成17年5月30日付、厚生労働省の勧告による積極的勧奨の差し控え」により、予診票の個別送付を中止していたため、平成18年～21年度は対象者数(予診票交付者数)を0としている。

平成21年に新ワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が承認され、平成22年4月1日から3歳に対して、第1期の積極的勧奨が再開された。平成22年8月27日からは第2期でも新ワクチンの接種が可能となり、同時に第2期の対象年齢で第1期接種完了していない方について、第1期の接種が可能となった。

平成23年5月20日からは、積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逸した者(平成7年6月1日生まれから平成19年4月1日生まれまでの者)のうち7歳6か月以上9歳未満および13歳以上20歳未満の者についても、定期的予防接種の対象となった。

(注2) 「未満」は、誕生日の前々日までを「至るまで」は誕生日の前日までを示す。

(単位：人)

年度	区分	麻しん風しん混合（MR）				麻しん	風しん
		1期	2期	3期	4期		
20	対象者(延)	1,703	1,443	1,360	1,472		
	実施者(計)	1,475	1,231	897	894	4	62
	接種率(%)	86.6	85.3	66.0	60.7		
21	対象者(延)	1,636	1,413	1,429	1,474		
	実施者(計)	1,484	1,221	1,069	952	10	7
	接種率(%)	90.7	86.4	74.8	64.6		
22	対象者(延)	1,884	1,394	1,383	1,436		
	実施者(計)	1,619	1,235	1,098	985	0	5
	接種率(%)	85.9	88.6	79.4	68.6		
23	対象者(延)	1,791	1,384	1,420	1,423		
	実施者(計)	1,628	1,205	1,116	1,041	4	1
	接種率(%)	90.9	87.1	78.6	73.2		
24	対象者(延)	1,825	1,462	1,436	1,506		
	実施者(計)	1,792	1,315	1,218	991	0	5
	接種率(%)	98.2	90.0	84.8	65.8		

[2] 麻しん・風しん予防接種の経過措置（任意接種助成）

平成18年度から麻しん・風しん予防接種は、混合ワクチンをⅠ期・Ⅱ期の2回接種となった。これに伴い、定期を過ぎた未接種者に対し、豊島区独自の経過措置（任意接種の全額助成）を設けている。

また、平成20年度から、第3期（中学1年生相当）第4期（高校3年生相当）の定期予防接種が追加されたことに伴い、平成21年度から対象を拡大した。

平成23年7月11日から、麻しんの感染および拡大防止を強化するため、さらに対象を拡大し、小学校1年生から18歳未満までの者で定期の予防接種を終了していない者について2回まで助成を行なっている。

□接種回数(平成23年7月11日から)

年 齢	所要接種回数
2歳から就学1年前に達する日にいたるまでの間	1回
小学校1学年に相当する年齢から18歳未満の間	2回

□経過措置実績

(単位:人)

年度	2歳～ 第2期対象以前			小学校1年生			小学校1年生～ 6年生			中学校2年生			中学校2年生 ～18歳未満		
	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん
20年度	21	1	5	34	0	0									
21年度	19	0	1	30	0	0				15	0	0			
22年度	25	0	1	28	0	0				18	0	0			
23年度	26	1	0				49	0	0				42	0	1
24年度	32	0	1				61	0	0				33	0	1

[3] 任意予防接種の助成

(1) 高齢者肺炎球菌ワクチン

平成21年度から肺炎が要因で死亡するリスクの高い75歳以上の高齢者のうち、肺炎球菌に感染した時に重症化しやすい、慢性の疾患や特定の疾病を有する高齢者に対して、肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を行なっている。これは肺炎のり患及び重症化の予防及び肺炎球菌ワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

平成23年度から、対象者を区内在住の75歳以上全員に拡大した。ただし前回の接種日から5年を経過していない場合は対象としない。

(単位:人)

年度	区分	対象者数	実施件数			接種率 (%)
			総数	一部助成	全額助成	
21年度	慢性疾患や特定疾患を有する75歳以上の高齢者	1,150	279	267	12	24.3
22年度		972	109	103	6	11.2
23年度	75歳以上すべての高齢者	25,688	5,793	5,503	290	22.6
24年度	75歳以上すべての高齢者	20,443	1,773	1,659	114	8.7

(注) 生活保護受給者と、中国残留邦人の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支給給付金を受給している方は全額助成している。

(2) Hib ワクチン

平成22年4月からインフルエンザ菌b型による感染症（髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、咽頭蓋炎、肺炎及び骨髄炎など）を予防するワクチン接種を対象者に対し一部助成を行なっている。これはHibワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住し、2か月以上5歳未満の乳幼児。助成は1人につき4回以内。

□接種開始時期と接種回数

接種開始	初回免疫	追加免疫
2か月以上 7か月未満	3回（4～8週間隔）	1回（初回3回目接種後7～13か月の間）
7か月以上 12か月未満	2回（4～8週間隔）	1回（初回2回目接種後7～13か月の間）
1歳以上 5歳未満	1回	

□年齢別接種回数別件数

（単位：人）

年度	接種時期	第1回目	第2回目	第3回目	追加	合計
22年度	2か月以上 7か月未満	868	612	294	0	1,774
	7か月以上 12か月未満	301	375	391	0	1,067
	1歳以上 5歳未満	556	124	58	379	1,117
	合計	1,725	1,111	743	379	3,958
23年度	2か月以上 7か月未満	1,257	985	716	0	2,958
	7か月以上 12か月未満	275	332	367	19	993
	1歳以上 5歳未満	312	214	189	785	1,500
	合計	1,844	1,531	1,272	804	5,451
24年度	2か月以上 7か月未満	1,662	1,517	1,392	0	4,571
	7か月以上 12か月未満	97	238	215	15	565
	1歳以上 5歳未満	147	17	43	1,376	1,583
	合計	1,906	1,772	1,650	1,391	6,719

(3) 小児用肺炎球菌ワクチン

平成23年4月から肺炎球菌による重い感染症（肺炎のほか中耳炎や、細菌性髄膜炎など）を予防するワクチン接種を対象者に対し一部助成を行なっている。これはワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住し、2か月以上5歳未満の乳幼児。助成は1人につき4回以内。

□接種開始時期と接種回数

接種開始	初回免疫	追加免疫
2か月以上 7か月未満	3回（27日間以上の間隔）	1回（初回3回目から60日以上あけて標準12～15か月児）
7か月以上 12か月未満	2回（27日間以上の間隔）	1回（初回2回目から60日以上あけて標準12～15か月児）
1歳以上 2歳未満	2回	
2歳以上 5歳未満	1回	

□年齢別接種回数別件数

(単位：人)

年度	接種時期	第1回目	第2回目	第3回目	追加	合計
23年度	2か月以上7か月未満	1,292	1,001	508	0	2,801
	7か月以上12か月未満	258	334	371	9	972
	1歳以上2歳未満	384	253	171	626	1,434
	2歳以上5歳未満	431	62	15	124	632
	合計	2,365	1,650	1,065	759	5,839
24年度	2か月以上7か月未満	1,648	1,595	1,270	0	4,513
	7か月以上12か月未満	96	153	334	3	586
	1歳以上2歳未満	53	43	41	1,054	1,191
	2歳以上5歳未満	224	47	11	265	547
	合計	2,021	1,838	1,656	1,322	6,837

(4) 子宮頸がん予防ワクチン

平成22年11月から子宮頸がん予防ワクチンの助成を行なっている。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染により発症し、近年の日本では20・30歳代の女性のり患者が増えている。

子宮頸がん予防ワクチンは、発がん性の高いHPV16型と18型のワクチンで、子宮頸がんの60%を防ぐことができると言われている。女性は、子宮頸がん予防ワクチンの接種と子宮頸がん検診をすることにより、子宮頸がんから体を守ることができるとされる。

豊島区では、子宮頸がん予防ワクチンの接種推奨年齢にあたる中学生1年生（22年度に限り中学1・2・3年生）の女子に対して、高額な接種費用を区で負担することにより、ワクチンの接種勧奨を実施して将来に渡り区民の健康を守ることを目指している。

□対象 接種時、豊島区に住民記録のある女子

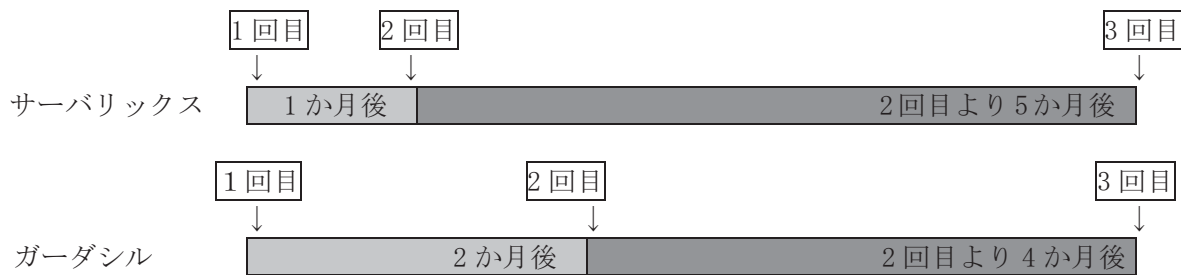
(単位：人)

区分 年度	対象者数（発送人数）				接種件数(延数)				
	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生	合計	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生	高校 1年生	合計
22年度	707	737	706	2,150	360	390	377		1,127
23年度	698			698	801	1,072	1,089	985	3,947
24年度	734			734	1,045	654			1,699

(注) 平成22年度の対象者はワクチンが一時期不足し希望しても接種できない状況になったため、当初平成24年1月末までとしていた接種期間を平成24年3月31日まで延長した。平成23年度の対象者の接種期間は平成25年1月末までである。

□接種回数

1人3回（初回、1か月後、2回目より5か月後）または（初回、2か月後、2回目より4か月後）



(5) おたふくかぜワクチン

平成24年4月からムンプスウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。おたふくかぜワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

□年齢別接種件数

(単位：人)

年度	接種時期	合計
24年度	1歳以上2歳未満	973
	2歳以上3歳未満	606
	3歳以上4歳未満	277
	4歳以上5歳未満	142
	5歳以上6歳未満	75
	6歳以上小学校就学前	152
	合計	2,225

(6) みずぼうそうワクチン

平成24年4月から水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。みずぼうそうワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

□年齢別接種件数

(単位：人)

年度	接種時期	合計
24年度	1歳以上2歳未満	1,005
	2歳以上3歳未満	659
	3歳以上4歳未満	251
	4歳以上5歳未満	126
	5歳以上6歳未満	46
	6歳以上小学校就学前	109
	合計	2,196